

ほなみ通信

第93号
2021年6月10日
社会福祉法人
坂井輪会

発行元 〒950-2035 新潟県新潟市西区新通4734 TEL 025-269-1600 FAX 025-269-1571

おだやかに日常を part1



[在宅部門] 註 ()内の増減数は昨年度比
デイサービス

穂波の里 (定員30名)	
年間延べ利用者数	8,748名 (372名減)
一日平均利用者数	24.0名
道場山 (定員12名)	
年間延べ利用者数	1,606名 (626名減)
一日平均利用者数	4.5名
たんぽぽ寺尾上 (定員15名)	
年間延べ利用者数	1,137名 (1,034名増)
一日平均利用者数	5.4名

配食サービス	
2021.3 利用実数	34名
年間延べ配食数	5,989食
委託業者	4,074食
自主事業	1,915食

ショートステイ	
年間延べ利用人数	9,706人 (497名減)
一日平均利用数	26.5名

[ケアハウス]

2021.3末	入居者数	36名
自立	7名	
要支援1	7名	
要支援2	8名	
要介護1	9名	
要介護2	4名	
要介護4	1名	

[グループホーム]

2021.3末	要支援2	1名
要介護1	4名	
要介護2	2名	
要介護3	1名	
要介護4	1名	
計	9名	

ヘルパー穂波の里

2021.3 利用実数	50名
年間延べ派遣	件数 延べ日数
介護給付身体介護	94件 291日
総合事業(現行相当)	199件 291日

ヘルパーたんぽぽ寺尾上
(2020年12月ヘルパー穂波の里に移転統合)

2020.11 利用実数	35名
年間延べ派遣	件数 延べ日数
介護給付身体介護	132件 209日
総合事業(現行相当)	146件 209日

ヘルパー事業全体の稼働時間	3,801時間
ヘルパー事業全体の廃止件数	10件

地域包括支援センター

総合相談(延べ件数)	1,025件
権利擁護(延べ件数)	63件
困難事例(ケアマネ支援・延べ件数)	96件
予防ケアプラン(2021.3.31現在)	661件

地域あんしんサポートセンター

らくらくショッピング	利用回数 56回
------------	----------

※買い物支援サービス

居宅介護支援事業(老人介護支援センター穂波の里)

ケアプラン(2021.3)	132件
---------------	------

居宅介護支援事業(ケアプランセンターたんぽぽ寺尾上)

ケアプラン(2021.3)	84件
---------------	-----

[道場山穂波の里入居部門]

2021.3末	実数	29名
要介護3	13名	
要介護4	8名	
要介護5	8名	

在宅部門

“2020年度まとめ”と“2021年度方針”

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延で在宅事業(デイ、ヘルパー、ショート)のご利用に大きな影響があった年でした。

ヘルパー事業は昨年度と比較して介護保険サービス利用が約9%、穂波デイ、ショートで約4%、道場山デイは約30%の減少、配食サービスも同様に約12%の減少となりました。幸いにも坂井輪会ではコロナ感染症の発生はなく1年を経過しましたが、ご利用の方々には何らかの形で介護保険サービスを自粛する力が働いたのではないかと思います。

コロナ禍で高齢者の身体・認知機能の低下がみられるとの報告が、包括や居宅から届いています。新年度は、感染状況を見ながら介護予防体操等の再開も含め、安心していかなる時も坂井輪会の在宅サービスをご利用いただけるよう感染予防対策を徹底してまいりたいと思います。

● 2020年度 穂波の里1年間のまとめ ●

[入居部門]

①平均年齢

2019.3末	87.8歳
2020.3末	88.5歳
2021.3末	88.5歳

②退去された方の状況

2019.3末	14名(入院退去 8名 施設看取り 6名)
2020.3末	16名(入院退去 12名 施設看取り 9名 療養型 1名)
2021.3末	19名(入院退去 11名 施設看取り 8名)

③要介護度(2021年3月現在)

要介護2	1名
要介護3	11名
要介護4	39名
要介護5	29名

平均介護度4.16
(前年度4.26)

④医療状況

入院	17件	経管栄養	3名
(前年度26件)		胃ろう栄養	0名
		尿道カテーテル	2名

⑤待機場所

介護老人保健施設	48名
介護療養型	6名
一般病院	28名
在宅(CH・GH・SS)	66名
その他	5名
待機数合計	153名

*CH ケアハウス、GH グループホーム、
SS ショートステイ

⑥サークル等

書道	延べ 279名
小集団リハビリ体操	延べ 2,171名
太極拳ゆったり体操	延べ 634名

⑩地域との連携

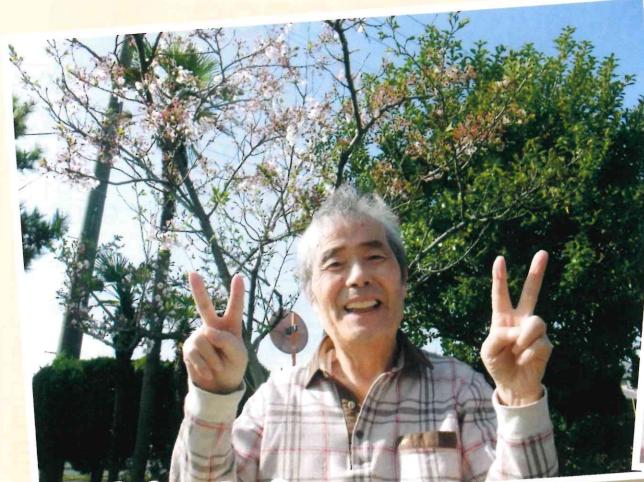
・新型コロナウイルスの影響により昨年度はボランティア、地域の皆様との交流は控えなければならず、民生委員さんの訪問、穂波の里盆踊り大会やボランティア交流会、家族会総会等すべての行事を控えた辛い一年でした。しかし、利用者・入居者と間接的にかかわるような衣類たたみや庭木整備はボランティアさんが休むことなく継続してくださいました。また、大雪の際は新通地域の皆様より重機で除雪していただきましたなど、このような状況下でも地域の皆様が施設を気にかけ、陰で支えてくださった年と感じました。

入居部門

“2020年度まとめ”と“2021年度方針”

感染予防のため介護・看護職員はゴーグル(眼鏡)と携帯用アルコール、マスク着用を常に行い、入居者も食事前のアルコール消毒や換気を徹底しました。そのため施設内での衛生管理がより図られ風邪等も流行ることなく過ごせました。ご家族との面会は昨年11月より中止し、未だ見通しがたたない状況でリモート面会を進めています。

待機者数は150名前後を推移しています。新入居の面接は、短時間の限られた条件で



おだやかに日常を part 2



美味しいジャガイモができますように



慣れた手つきでいつもと違う勝負師の顔！



グループホームの鯉のぼり
住宅街ではほとんど見かけなくなりました

